

No.83 SHIENだより

松本盲学校 校外支援教室

R7-1 7・4・10（木）

ご入学、ご進級おめでとうございます。

新たな希望を胸に新しい春をお迎えになっていることと思います。本校では4月8日（火）に入学式を行いました。今年度は小学部から専攻科理療科まで6名の新生を迎えることができました。0歳の赤ちゃんからご高齢の方まで生涯支援をミッションとする松本盲学校です。本年度も、ピカピカの小学1年生のお子さんから、50歳代の方まで、幅広い年齢層の新生の方々をお迎えしました。



松本盲学校教育目標

育む友情
元気なからだ
確かな学び

さて、本年度の校外支援教室ですが、皆様からのご相談の窓口として、引き続き教育相談専任の古瀬英之（ふるせ ひでゆき）が中心的に運営にあたります。見え方の困難に関わって、学習上、生活上のお悩みやニーズ等がございましたら、どんな小さなことでもご相談ください。見え方のご様子に応じて、学習場面や生活場面に応じて必要な合理的配慮の内容を一緒に考えながら、お子さんがもてる力を十分に発揮できる経験を通じて、「主体的な学習者」として成長していくことができるようサポートしてまいります。

松本盲学校への就学を検討されている皆様も、お気軽に、ご相談ください。視覚障がい教育のセンターである、本校の専門的な教育活動を計画的に体験いただけるように進めてまいります。お子さんのもつ可能性を最大限に伸ばし、自信を高めながら夢の実現に向けた進路選択につながるように、一緒に考えてまいります。

なお、校外支援教室では休日にも支援相談日を開設しております。（全9回）

＜令和7年度 支援相談日＞※下記日取りの変更にも対応可能です。

4月19日（土） 5月24日（土） 6月21日（土）
9月27日（土） 10月18日（土） 11月22日（土） 12月20（土）
1月24日（土） 2月14日（土）

学習や進路等どんなご相談でも構いませんので、お気軽にご連絡ください。

☎0263-32-1815 担当：古瀬 英之（ふるせ ひでゆき）

～「みかたサポート」をご活用ください～

松本盲学校では、教育相談依頼書式である「みかたサポート」を活用した相談支援を進めております。おかげさまで、多くの学校等でご活用いただいております。本校の支援を必要としている皆様が、できるだけ迅速・スムーズに支援を受けられるよう、事務手続きも簡便なものになっています。①貴校の教頭先生より本校教頭にお電話でご連絡いただきます。②校外支援教室担当教員が貴校の担当者の方と日程調整をいたします。③「みかたサポート依頼書」に依頼内容を記入して本校宛てにFAXで送信いただければ、それが校外支援教室担当教員への「派遣申請」となり、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等に担当者が出向いて相談支援にあたります。オンラインでの相談支援、電話やメールでの相談支援も承ります。

また、定期テスト、高校・大学入試で、「視覚に関する配慮」（合理的配慮）の申請をご検討されている方は、早めに松本盲学校までご相談ください。「みかたサポート依頼書」は、インターネットの本校ホームページからもダウンロードできます。

～まぶしさを感じやすいお子さんたちへの支援～

本を読んだり、ノートに文字を書いたりするときに、紙の白色をととてもまぶしく感じて、文字が消えてしまう、動いて見える、ぼやけて見えるなどの見えにくさがあるお子さんたちがいます。多くの人が気にならない程度の明るさ（太陽光、蛍光灯、LED照明等）でもまぶしく感じて、眼に痛みを感じたり、頭痛を起こしたりすることもあります。本の文章を読み進めることに大きな困難があるので、「学習障害（LD）」と間違われることもあります。「ある波長の光の感受性が高いため
に生じている視知覚の困難」であり、「アーレン・シンドローム」と呼ばれる症状です。状態像の理解が広がる中で、みかたサポート教育相談につながるケースも増えてきています。松本盲学校では専門的なアセスメントと支援を提供していますので、お気軽にご相談ください。

★「学校公開」は7月8日（火）に開催！

★「目の教室」は8月3日（日）に開催！

「学校公開」では、毎回ご好評をいただいている各メーカー協賛による「視覚支援機器展示会」を今年度も同時開催します。ぜひ、足をお運びください。

「目の教室」は、愛知教育大学特別支援教育講座准教授の相羽大輔先生に講師となっただき、「視覚障がいのある子どもの自己理解を支援するー自己理解発達のプロセスにそってー」（仮題）のテーマで研修会を開催する予定です。年齢や発達段階に応じた自己理解支援の進め方を共に学び合ひましょう。お集りいただく子どもたちには、見え方に配慮した楽しい活動を準備してお待ちしています。